



## 第27回小樽開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

令和元年11月13日に開催された「第27回小樽開発建設部総合評価審査委員会」の審査概要を、別紙のとおりお知らせいたします。



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

技術管理課 課長 寺井 一弘 (0134-23-8305)

技術管理課 課長補佐 高橋 直行 (0134-23-8305)

(小樽開発建設部ホームページ) <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



## 第 27 回 小樽開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	令和元年 11 月 13 日（水） 小樽開発建設部 第 1 会議室
委員長	和田 建夫（小樽商科大学学長）
委員	高野 伸栄（北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授）
”	八木 宏樹（小樽商科大学名誉教授） <span style="float: right;">（五十音順）</span>
議 事	<p><b>【1 審 議】</b></p> <p>工事の審査について</p> <p>① 石狩湾新港 ケーソン製作工事</p> <p>② 一般国道 5 号 共和町 新稲穂トンネル R 側共和工区工事</p> <p>③ ニセコ地区 ニセコ工区区画整理工事</p> <p><b>【2 報 告】</b></p> <p>業務の事前審査</p> <p>第 3 者による業務の事前審査の報告</p>

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<p><b>【1 審 議】</b></p> <p>平成 31 年 1 月 1 日から令和元年 6 月 30 日までに契約した工事の中から抽出された 3 件について工事概要説明及び審議を行った。（以下、入札参加者の提案またはその評価に係わる内容は、技術提案に関する機密保持の観点から記載していません。）</p>	
<p>○ 石狩湾新港 ケーソン製作工事 （技術提案評価型 S 型）</p>	
<p>・ヒアリングを行う目的はなにか。</p>	<p>・技術提案の主旨が評価者の考えている内容・効果と相違ないか確認することが目的です。</p>
<p>○ 一般国道 5 号 共和町 新稲穂トンネル R 側共和工区工事（技術提案評価型 S 型）</p>	
<p>・技術提案において、参加者が一つの提案のつもりで記載していても複数の提案と評価され、一番目の技術しか評価対象とならない場合は問題とならないか。</p>	<p>・公示している工事計画概要に「先頭に記載されている提案のみを評価する」と記載しており、最初に記載してある技術に対して評価を行っていますが、より分かりやすく表記するよう努めます。</p>
<p>・ワークライフバランスの評価点が 1 点と低すぎるのではないか。</p>	<p>・一般土木及び建築の W T O 対象工事の段階的選抜方式において、原則設定することとしております。</p>
<p>○ ニセコ地区 ニセコ工区区画整理工事 （施工能力評価型 I 型①）</p>	
<p>・了解した。（特に意見・質問等はなし）</p>	

意見・質問	説明・回答
<p><b>【2 報告】</b></p> <p>○ 令和元年度（平成31年度） 第3者による業務の事前審査について</p>	<p>・ 令和元年度（平成31年度）業務（4月から9月）の第3者による事前審査を行った業務について報告。</p>
<p>・ 了解した。</p>	<p>※第3者による事前審査            契約の透明性を図ることを目的に、技術提案書の特定前に第3者機関により実施する審査。</p>